



鎮魂と復興を願うボランティア活動プロジェクト 関上追悼イベントで飾る絵灯籠作り 語り部たちの話を聞いた。 みんなで力を合わせて作った。

宮城農高生による語り部ガイド スマートグラスによるAR体験も

被災地のために今何ができるかを、読者の皆さん、賛同企業の皆さんとともに考え、行動している「今できることプロジェクト」。2月28日に、「3.11関上追悼イベント実行委員会」の協力により「追悼イベントで飾る絵灯籠を組み立て製作するボランティア活動」に参加しました。

当日、絵灯籠製作に先立って、被災地関上の現状を見学。関上地区で被災した宮城県農業高校の生徒さんたちが、語り部として案内してくれました。語り部をつとめたのは食品化学科の生徒と実習助手山根正博さんら。地元関上を思い、語り部として多くの人に関上の今とこれからを伝えようと活動しています。

今回の案内では、生徒有志が企画したAR(拡張現実)映像をスマートグラスで体験することができました。AR映像は、今立っている場所の震災直後の映像を360度で見ることができるというもの。参加者たちは関上小学校、関上中学校、日和山の3カ所で震災直後のAR映像を体験し声を出して驚いていました。



語り部ガイドしてくれた宮城農高の皆さん



最初に訪れた関上小学校前にて



AR映像を体験する参加者の皆さん

生徒14人が犠牲となった関上中学校前の献花台にて



日和山にて。被災した「佐々直」旧工場と名取市が建立した慰霊碑

日和山がある周辺一帯は非居住区域として復興計画が進められる

絵灯籠 4面の台紙に 1枚 1枚、丁寧に絵を貼っていく作業。集中して何枚も続けると、けっこうきつい作業でした。それでも、みんな楽しく助け合って、目標達成。参加者の皆さん、長時間、お疲れさまでした。

大きな被害を受けた関上 その追悼の気持ちを込めて

関上地区の被災状況と復興計画について、名取市震災復興部職員の方や「3.11関上追悼イベント実行委員会」より説明があり、参加者の皆さんは真剣に聞き入っていました。「絵を描いてくれた皆さん、さまざまなボランティアの皆さんとの『共創』で成り立っています」と実行委員長・佐々木悠輔さん。

絵灯籠製作会場となった
パナソニック(株)仙台工場(名取市)にて話をしてくれた
名取市震災復興部職員の方々

この先も絶やしたくない関上追悼のあかり

3.11関上追悼イベント実行委員会事務局 佐宗美智代さん

「関上では、土地をかさ上げして市街地を再建する事業が昨年から始まっていて、被災した関上小学校と関上中学校の校舎は解体されます。光の道として電子絵灯籠を飾ってきた関上五差路から日和山に至る道路も工事区域となります。小学校・中学校の前で祈りを捧げ、光の道を追悼のあかりの道としてきましたので、それがなくなると思うと残念でなりません。今年の3月が今のやり方でできる最後の機会となりました。ただ、全国の方がこの追悼の行事をやめないで、と応援してください。どうかして続けたいと私たちも考えているところです」



「多くの犠牲者のために、これからも」と話す佐宗さん

全国から寄せられた絵や書 1枚 1枚丁寧にのり付け

実行委員会・武田雄雄さんの指導で絵灯籠製作がスタート。枠のある台紙に絵をのり付けします。「のりは木工ボンドを薄めて、筆で塗りますよ」と説明があり、参加者は作業手順によって2人1組になったり、担当の持ち場に別れたりして作業をしていきます。貼り終わった台紙は、床に並べて乾燥。乾いたものから、組み立てやすいように折れ目をつけていきます。この日で合計約2,000セットを作成。目標を達成することができました。



武田さんのお手本を見せる

世代を超えて、共に創る

4面を組み立てた状態

一心不乱に作業に集中

丁寧に、きれいに、じっくり

完成した絵灯籠は床に並べて試験点灯

電子絵灯籠の絵の差し替えも行われました。電子絵灯籠は、風がある日でもあかりが消えないようにとパナソニック(株)仙台工場の協力で製作したもの。この日完成した電子絵灯籠が並べられ、照明を落として試験点灯。あかりが灯された絵灯籠を、参加者たちは感慨深く見つめていました。



電子絵灯籠の絵の差し替え作業

絵、書、表情豊かな絵柄が並んだ

風化させないため まずは行動を

地元で行われているボランティアツアーに参加し、関上には何度か来たことがありました。今は仮設住宅に花を植えるなどの活動をしています。絵灯籠の組み立てはいろんな人の思いに触れることができるためとても楽しく作業できました。大事なことは行動すること。これからもさまざまなボランティアに参加し、風化させないよう努めていきたいと思っています。

静岡県沼津市
杉山まゆ美さん(41)

大切なのは、 実際に足を運ぶこと

宮城県農業高校の生徒さんたちなど、普段聞くことのない現地の方々の生の声を聞くことができたのがとても印象的でした。住んでいるところからは近くても、その場所に行ってみないと分からないこと、実感できないことというのはたくさんあります。子どもと一緒に考えていくためにも、今後このような機会があったらまた参加してみたいです。

仙台市青葉区
奥崎ひろみさん(47)・琉那さん(14)

企業として、個人として 被災地の役に立ちたい

県内の他の地域に比べ、関上は復興が遅れていると聞きます。今回は宮城県農業高校の生徒さんたちや現地の方々の話を聞き、関上にはまだ多くの支援の手が必要なのだと思いました。絵本や福祉巡回車の寄贈など、企業としてできる取り組みは今後も継続していく予定です。また一個人としても、被災地に対し何かの役に立ちたいと考えています。

生命保険協会宮城県協会
小座間宏さん

みんなで作った絵灯籠で 3月8日、11日に追悼行事

「3.11関上追悼イベント2015」が、3月8日関上小学校会場で、3月11日関上中学校会場で、それぞれ開催されました。8日は、関上小学校校庭に絵灯籠のほかにキャンドルを灯し、関上五差路から日和山に続く約1.2kmに絵灯籠による光の道ができました。11日は、関上中学校北側で絵灯籠を灯し、中学校から関上公民館跡地まで光の道をつくりました。



関上小学校校庭に灯された絵灯籠

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北

今できること

検索



facebookページもあります。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/キャノンマーケティングジャパン/餃子の王将/キリンビールマーケティング 宮城支社/ケースデンキ/劇団四季/コンパスホーム/サッポロビール 東北本部/サントリー酒類 東北支社/JA全農みやぎ/JTB東北/尚絅学院大学/住友生命 仙台総支社/青南商事/生命保険協会 宮城県協会/セキスイハイム東北/石油連盟/仙台育英学園/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/タゼン/テラ/伝承千年の宿 佐勘/東北ミサワホーム/東北三菱自動車販売/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産 仙台支店/はとバス/日立システムズ/ビルワーク/藤崎/富士フイルムグローバルグラフィックスシステムズ/北洲ハウジング/松田会/三井不動産/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/森永乳業/リコージャパン 東北事業本部/平松剛法律事務所/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、名取市、女川町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会

◎協力/東北グリーン復興事業者パートナーシップ

【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318